

### 事業評価シート【新規事業-1】

事業名	社会教育センター解体事業			基本計画	節	6	総合戦略	基本目標	
事業コード					テーマ	4		施策の方向	
課係名	生涯学習課社会教育係	内線			施策	1		施策	
担当者氏名		職名			主な施策展開	2		整理番号	

事業実施の経緯(現状)	昭和42年築の社会教育センターは施設の老朽化が著しく、利用者の安全を担保できないことから、総合管理計画第1次アクションプランで平成30年度までの用途廃止を掲げていた。また、それに合わせて当時の6次3か年計画では同年度の建物の解体を目指していたものの、事務所の適当な移転先が確保できず現在も3団体が利用している状況である。令和5年度から旧五郷幼稚園にセンターの機能を移転することになったため、改めて施設の解体を検討する。
めざす姿・ねらい(目標・目的)	現施設は外壁や軒のコンクリートが剥離し落下するなど老朽化が著しく、使用しなくなった後も近隣住民や隣接する公園の利用者等に危険を及ぼす恐れがあることから、管理上のリスクを回避するため早期に解体する。これにより、維持管理に係る将来的な支出も削減できる。
実現するための課題(問題点)	財源の確保
具体的な取組(解決策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスベスト調査(事前調査、含有調査)</li> <li>・解体工事</li> </ul>

主要指標	指標の種類		指標及び目標値(目標)の考え方	目標値(目標)		
	名称			年度	年度	年度
■ 活動指標	①					
	②					
■ 成果指標						

実施根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令計画名	①	②
			③	④
		補正予算要求理由		

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度:無期	後年度負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	<input checked="" type="checkbox"/> 複数年度:有期[ 始期 R5 ~ 終期 R7 ]	内容	公共施設等適正管理推進事業債(除却事業)償還

事業費の積算(千円)	年度	内容	R5年度		R6年度		R7年度		事務スケジュール
			事業費	人工数	事業費	人工数	事業費	人工数	
事業費の積算(千円)	R5年度	・アスベスト事前調査	事業費	278	人工数				年月   内容
			国県		0.05			R5.4   業者へアスベスト事前調査委託	
			市債			人件費		R6.4   業者へアスベスト含有調査委託	
			その他		378			R6.4   建築課へ設計委託	
	R6年度	・アスベスト含有調査 ・設計	一般財源	278				R7.4   建築課へ施工監理委託	
			事業費	4,142	人工数				
			国県		0.05				
			市債	3,700	人件費				
	R7年度	・解体工事	その他		378				
			一般財源	442					
			事業費	42,020	人工数				
			国県		0.05				
		市債	37,800	人件費					
		その他							
		一般財源	4,220	378					

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 事業の必要性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会環境や市民ニーズと整合があるか。</li> <li>・市が事業を行うことについて妥当であるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 必要性が高い B. 必要性が認められる C. 必要性について検討が必要である	当該施設は老朽化が著しく、管理上安全性が確保できないため、早期の解体が望ましい。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画基本計画の施策の達成にどのように寄与するか。</li> <li>・ほかの事業と関連できる場合、より有効に働く面はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	B	A. 有効性が高い B. 有効性が認められる C. 有効性について検討が必要である	公共施設の管理であるため、施策「行政改革の推進」に寄与する。また、施設の解体は土地の有効活用に繋がる。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・投入したコストに見合った成果があがる見込みがあるか。</li> <li>・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	B	A. 効率性が高い B. 効率性が認められる C. 効率性について検討が必要である	現状としては著しい損傷や倒壊の恐れなどはないが、将来的にそのような状況になることも十分想定され、一部補強など場繋ぎ的な支出を防ぐことにつながる。
	4. 財源確保の見通し		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・県補助等の見通しはどの程度までであるか。</li> <li>・財源確保のため、他の事業を縮小又は廃止できる可能性はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	B	A. 見通しがある B. 一部見通しがある C. 見通しがない	除却債の利用により、一般財源からの支出を抑えることができる。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	C	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	他の事業との優先順位を考慮し実施は見送るべきと判断する。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
	B	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	建物の解体だけではなく、跡地利活用まで視野に入れるとともに、その手法も検討した上で実施するものとする。
	■庁議による方針		
	評価		具体的な方向性
	A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	担当課の提案どおり実施するものとする。